

総務常任委員長報告



総務常任委員長

湯浅正司

総務常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

議案第8号「阿蘇市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について」

委員より、「追加項目に『職員の人事評価の状況』とあるが、評価は誰がするのか。」「との質疑があり、人事係長より、「基本的に

は課長、部長、副市長が評価者となります。課長補佐以下は評価される側となり、課長の評価は部長、部長の評価は副市長が行うという形になります。」との答弁がありました。委員より「人を評価するということは難しいもので、評価者の個人的感情が絶対に入らないとは言いきれないと思うが、評価の項目等は定められているのか。」との質疑があり、総務課長より「人事評価につきましては、もちろん、評価者が評価を行います。まず、自己評価をし、評価者との面談のなかで、自分が頑張ってきたことを伝え、また評価者からみでの評価の内容も伝えながら、お互いに

コミュニケーションを図りつつ、組織の活性化を進め人材育成に繋げていくことを当面の目的としています。」との答弁がありました。委員より、「評価項目に関しては、詳細にわたって、個人的感情が入ることなく、誰もが納得できる評価になるような仕組みづくり

が重要である。」との意見がありました。審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第39号「平成28年度阿蘇市一般会計予算について」

税務課所管分

委員より「歳入のなかの『滞納繰越分』について、過去からの推移として増加傾向にあるのか。」との質疑が



るのか。」との質疑があり、**収税係長**より、「収税係で徴収の方でも努力しておりますので、その成果もあり、ここ数年、減少傾向にあります。滞納繰越分の21年度の収納率は11・86%、これに対し26年度の収納率は18・7%となっております。また、現年分の収納率ですが、21年度が96・31%に対し、26年度が97・74%と少しずつではあります。収納率は伸びてきております。」との答弁がありました。

また別の**委員**より、「歳入の中の入湯税は、前年とあまり変わりない見込みのようだが、中国や台湾等からの観光客は、著しく増加傾向にあるなか、それでは整合性が取れていないのではないか。入湯税に関しては、事業主の自主申告がゆえに、正確な申告がされているのかも疑問であるが。」との質疑があり、**市民税係長**より「たしかに観光統計の数字とは乖離している部分があると認識しております。ただ、阿蘇市の入湯税は、温泉がある旅館を対象としておりますが、観光統計では、温泉がない旅館の観光客数も含まれておりますので、当然、その差は出てくるものと思われ。しかしながら、委員が言われま

てもらいたい。また、
収納率アップに関して
は、年々、努力の成果
が表れてきているとい
うことで、私個人とし
ても努力を認めたい。
」との意見があり
ました。

総務課所管分

委員より「『災害対

策費』のなかの阿蘇山
上火口監視員に支払わ
れる報酬についてだ
が、どこに委託してい
るのか。また、非常に
危険な業務だが、この
金額で妥当だと考える
か。」との質疑があり、

総務課長より「火口
監視員2名について
は、本市が直接嘱託職
員として雇用してお
り、市の職員2名と合
計4名で、365日常
時2名体制で監視業務
にあたっております。
金額につきましては、
例規に規定する専門業
務職員の報酬をお支払
いしています。」との
答弁がありました。

別の委員より「行政

側も、採用する際には
雇用条件を十分理解し
てもらいたい、さらに納得
されたうえで採用する
こと、また、民間委託
の場合は、雇用先が行
政ではなく民間である
ため、その会社で雇わ
れた方は、その会社の
雇用条件に沿って業務
を遂行していただくこ
と、そのあたりの認識
が曖昧になると、嘱託
職員の方に対しての行
政側の対応は難しくな
ると思うが。」との意
見があり、総務課長よ
り「委託に関しまして
は、仕様書のなかの契
約の条件を詳細にわた
り提示し、納得いただ
いたうえで入札に応じ
ていただく。また、防
災協のガス監視員につ
いても、健康状態等を
確認し、同じく、契約
の条件を提示し、本人
の了解を得た上で雇用
契約を結んでいくよう
な形を徹底するよう努
めていきます。」との

答弁がありました。

別の委員より「私と

しては、非常に危険な
場所であり、危険手当
も不十分ということに
疑問を持つ。先般の噴
火の際も、観光客の誘
導等で非常に活躍され
たとのことだが、そう
いう危険ななかで仕事
をしているということ
を踏まえ、今後、その
辺りの予算措置を考え
ていく必要があるので
はないか。」との意見
がありました。

総務課長より、「現

段階では、非常勤職員
取扱要綱の規定に基づ
いて支払われておりま
すが、今後、阿蘇市以
外の火山を有する地域
の状況を確認するとと
もに、職務に応じた報
酬として全体的な見直
しも進めていかなけれ
ばと考えます。」との
答弁がありました。

別の委員より、「交

通安全施設工事につい
て、反射鏡や防護柵
は、区長を通さないと

取り付け等はできない

のか。」との質疑があ
り、防災交通係長よ
り、「基本的には、個
人からの要望は受け付
けておらず、区長要望
書にて受け付けており
ます。」との答弁があ
ります。

委員より、「以前、

私が事故にあった箇所
があるが、そこは急な
カーブで、反射鏡が一
つしかついておらず、
二つないとどうしても
見にくく危ないため、
区長に要望したところ、
一つついていないか
らいいのではないかと、
なかなか納得して
もらえず要望が通らな
い。そういう場合は個
人で要望するしかない
のではないか。」との
意見があり、防災対策
室長より「基本は区長
要望書の受け付けに
なりますが、ただ、そ
ういった個人の方の意
見も少なからずありま
すので、その場合は、
こちらから区長の方
に、『このような要望

があつておりますので
要望書を上げていただ
けないでしょうか』と
いうことを、お話しさ
せていただくこともあ
ります。」との答弁が
ありました。

また、別の委員より

「区長要望が原則だ
が、区長のなかにも交
渉上手で熱心な方や、
そのようなことが苦手

な方など、いろんな方

がいらっしゃると思
う。区長要望がすべて
だと、不平等な地域が
出てくるので、そのあ
たりを考慮して事業展
開を進めてもらいた
い。」との意見があ
り、総務課長より、
「行政として、心配し
ますのは、各個人の要
望をそれぞれに受けて



しまようと収拾がつかなくなるという事です。一つの基本としまして、地域のことであれば、区長さんを通して、地域の総意として要望をあげてもらおうこと、また、市民の方から直接お話をいただいたときは、私たちも現場を一度確認し、緊急性があり必要と判断するものであれば、こちらから区長の方へ、地元から要望があがっていることをお伝えして、区長要望をあげていただくというような形で進めさせていただいております。緊急性のある箇所から対応にあたっていきます。」との答弁がありました。

床数にしても過大であると考える。したがって、黒字でないといけないというわけではないが、1億から1億5千万円ぐらいの範囲だったなら、公立病院でもあり、賛成しなくてもはいけないと思うが、毎年5億円が繰り出されるとなると、企業努力を問われるということとで反対せざるを得ない。」との反対討論がありました。

別の委員からも「市民の命を守ることに目的であり、現在、しっかりと形になってきていると思う。あとは、長い目で見ていかなければ、短期間で黒字になるということは難しいと考える。高齢化社会になっている今、地域の中核病院として、市民の皆さんが安心して診てもらえるような環境づくりが必要であることから、この件に関しては賛成である。」との賛成討論がありました。

委員より、「延長についての異論はないが、市民の方から、『この総合計画そのものが見えない』、『こういうものを策定してもなにもならない』という意見を聞く。もう少し、市民の方々に対し、『こういうことをやっている』というように、きちんと示す部分を検討するべきではないか。」との意見がありました。財政課長より、「平成18年に作られた第一次総合計画に比べますと、住民向けに公表する情報が非常に増えており、また公表し

議案第54号「阿蘇市総合計画の期間延長について」

なければなりません。昨年から、予算書等もホームページ上で公表を始めましたが、第一次総合計画の検証結果や、この総合計画につきましても、ある時期にパブリックコメントも必要だと考えております。今後はこの計画につきましても、『現在、こういうことに取組んで、こういう状況ですよ』というように、広報やホームページを通じて、市民の皆さんに周知を図っていただきたいと考えております。」との答弁がありました。

議案第55号「阿蘇市過疎地域自立促進計画の策定について」

委員より、「総合計画の件もそうだが、なにか事業をやっていくうえで、市民の方々に、『こういう計画を基に行政運営をやっています』といったように、わかりやすく周知する必要があります。」との意見がありました。財政課長より、「今後は、各計画の概要版等を作って、市民の方々にもわかりやすい形で公表を行っていきよう検討してまいります。」との答弁がありました。



審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が、総務常任委員会に付託されました案件についての報告です。